

2016 年 10 月 3 日

自然科学系の学術研究団体 御中

男女共同参画学協会連絡会第 14 期委員長 小川 温子

第 4 回大規模アンケートWG 委員長 北川 尚美

拝啓

貴学協会におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

男女共同参画学協会連絡会(以下、連絡会)は、自然科学系の学協会間での連携協力を行いながら、科学技術の分野において女性と男性がともに個性と能力を発揮できる環境づくりとネットワーク作りを行い社会に貢献することを目的として、2002 年に設立され、今年で 15 年を迎えます。

連絡会では、自然科学系の研究者・技術者を取り巻く現状を把握するために、これまで 2003 年、2007 年、2012 年の 3 回にわたり大規模アンケート調査を行い、それぞれ約 2 万人の男性・女性の研究者・技術者から回答を得ました。それらの調査結果は男女共同参画社会をめざす上で直面する様々な問題点を議論する上での統計的根拠として、現在も様々な場面で引用されております。また、アンケート結果に基づいて作成した提言は、国の政策決定に反映されており、実際に男女共同参画に関する様々な支援策が講じられてまいりました。このように、アンケート調査を定期的に継続して実施することは、男女共同参画の実情やその認識の変化を明らかにし、実施されている政府事業の効果を検証し、さらに新たな課題を見出す上で大変重要と考えております。

そこで連絡会では、第 4 回大規模アンケートを 2016 年 10 月に実施すべく準備をすすめております。なるべく多くの自然科学系研究者・技術者の声を集めるべく、本連絡会加盟学協会・オブザーバー学協会以外の学協会につきましても、協力学協会という位置づけで、前回同様にアンケートへのご協力をここにお願ひ申し上げる次第です。貴学協会ご所属の個人会員、学生会員および法人会員にご案内いただけますようお願い申し上げます。

より多くの科学者・技術者の皆様にアンケートへの積極的なご協力をお願いいたしたく存じます。是非ともご協力下さいますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 調査内容

- ・年齢・性別・経歴・職種・所属学協会等、基礎データ
- ・仕事関係(仕事時間、雇用形態、キャリア形成等)
- ・育児・介護(子供の数、育児休業、介護休業、ライフワークバランス等)
- ・男女共同参画(意識、推進に必要なこと)
- ・これまでに実施された男女共同参画推進関連の政策の周知度と効果

2. アンケート実施方法:オンラインによる実施 (web 回答方式)

<https://wss2.5star.jp/survey/index/n3dd5zyv/9390/>

3. アンケート実施期間:2016 年 10 月 8 日(土)～10 月 28 日(金)(予定)

4. 実施団体および問い合わせ先

男女共同参画学協会連絡会 <http://www.djrenrakukai.org/>

担当:アンケート WG 事務局(化学工学会事務局内)E-mail: danjo2016@scej.org

※個人情報の取り扱いについて

回答は、無記名のものとして統計的に処理し、個人を特定することはありません。収集したデータに関しては情報漏洩防止対策を徹底し、男女共同参画推進活動にのみ活用します。

なお、これを機に、連絡会への加盟をご検討いただける場合には、アンケート WG 事務局宛で結構ですのご連絡いただけると幸いです。

以上